

授業改善の基本

学習指導要領

- *「生きる力」の育成
⇒ 学習の〈目標・内容・方法〉
- *資質・能力の育成と評価
⇒ 〈学力の3要素, 評価の3観点〉
- *教科等の見方・考え方
- *主体的・対話的で深い学び

自校の教育像の「見える化」

- ◇ 教育活動全体計画
- ◇ 育てたい生徒像(資質・能力)と評価
⇒ マスタールーブリック
- ◇ カリキュラム・ポリシー
- ◇ 進路実現につながる力の明確化
- ◇ 授業改善方針と方策

《授業基盤の整備》

- *シラバスの共有
⇒ 授業計画・評価計画
〔年間・単元〕
- *効果的・効率的な授業編成
⇒ 授業時数の確保と平準化
- *教室整備・ICT 機器整備
- *授業規律
⇒ 生徒指導の三機能
ナチュラルサポート
- *成果検証項目等の事前設定

《進路実現と授業》

- *生徒の進路希望〔大学等・専門学校等・就職等〕の具体に応じた授業設定
- *入試問題・採用試験問題・面接等の実際の内容の分析, 生徒と実例共有
(受験者からの聴取内容等の蓄積・紹介)
- 学習指導要領を踏まえつつ, その種の問題・質問に対応できる「捉え方・考え方」の力を授業で付けることが肝要
- *授業で付ける力と進路指導計画の連動

授業改善

《授業改善方針》

- *方針・考え方の「見える化」
- *PDCA サイクルの機能化
- *学習の〈目標・内容・方法〉
- ➡ 【目指す授業像】
 - ▽「付ける力」の明確化
 - ▽授業展開のストーリー性
 - ▽授業技法・技術の改善
 - ▽教材・ワークシート類の改善
 - ▽発問, 課題・考査等の工夫
 - ▽振り返りシートの活用 など

《授業改善方策, 検証》

- *教員による相互観察・評価
⇒ 授業観察シート・ICT の活用
事後協議・成果共有等の確保
- *生徒による授業評価
⇒ 結果の全体共有と相互分析
- *研究授業
⇒ 目的・意義・方法等の明確化

